



## 年次レポート 2008.10.1 ~ 2009.9.30(平成 20 年度)

モンゴルの障害者支援については、使用済み車いすの整備を進め、8月にモンゴルに車いすを運び交流するツアーを実施し、現地で車いすを手渡し、療育キャンプに協力することができました。また、現地で障害者支援に携わる青年海外協力隊員等との交流もおおいに図ることができました。

タイ・ミャンマーについては、RudeLA(ラフ農村開発)と協力して支援を行っているミャンマーの研修農場を視察・交流するツアーを2月に実施しました。

文化交流事業として、7月にモンゴル音楽コンサートを実施しました。

運営面では、ネット上での情報開示、ブログでの情報の提供、メールニュース、ニュースレターでの情報提供を行い、組織のあり方について活動の現状に即し柔軟に動けるように見直していく方向性を確認しました。

### 1. 海外との協力事業

#### (1) モンゴル障害児療育支援事業

##### ア. 専門家派遣

車いすをモンゴルへ届けるツアー時に専門家1名を派遣した。

派遣目的：車いす等のモンゴルへの寄贈にあたり、車いす、歩行器、装具等の選択およびシェアザジョイセンター(南ゴビ)療育キャンプでの指導

実施期間：2009年8月9日(日)~8月16日(土) 8日間

派遣専門家：北梨加(作業療法士・ニンジン会員)

派遣先：障害児親の協会(ウランバートル市内)、シェアザジョイセンター(南ゴビ)

実施結果：車いすの運搬、寄贈の管理、チンゲルティ地区の障害児センター、南ゴビのシェアザジョイセンター(夏の療育キャンプ)における訓練指導および、ツアーの療育コース(4名+協力隊4名)のリーダー役を務める。

成果：昨年夏に引き続き、同じ障害児センター2カ所で訓練指導にあたりるとともに現況を把握することができた。



##### イ. 使用済み車いすの収集と配布

心身障害児総合医療療育センターにおいて、君塚所長の声がけにより、年間を通じて使

用済みの車いす、歩行器、木製の工房椅子などが業者さんの協力で集められている。

今期は、8月のモンゴル交流ツアーでの運搬により34台の車いす、歩行器等を寄贈した。これ以外に持っていけない分28台を会員宅に保管し、次年度の発送に備えている。

収集協力：心身障害児総合医療療育センター(東京・板橋区)

点検・整備作業日：2009年6月18日、7月11日

配布台数：車いす26台、  
バギー7台、  
歩行器1台、  
計34台

発送：2009年8月9日

輸送協力：モンゴル航空

整備協力：(有)武蔵野社

受入団体：障害児親の協会(APDC)24台、第25特別支援学校3台、  
チンゲルテイ地区障害児センター2台、国立外傷センター1台、  
シェアザジョイセンター2台、モンゴル航空2台

成果：今年度は、APDCが移転の最中であったため、第29特別支援学校の中庭を会場に贈呈式を行った。日本からのメンバーにOT1名、PT2名、特別支援学校の教員等専門家が多く、かつ現地にいる協力隊員の協力もあり、車いすの適合をみることにスムーズにおこなうことができた。



## (2) タイ、ミャンマー山岳少数民族(ラフ族)自立支援事業

### ア．ビルマ・シャン州農援団

2006年、北タイの山岳少数民族NGOラフ農村開発(Rural Development of LAHU, 代表ダイエー・セイリ氏)と協力してミャンマーにラフ族のための研修農場をつくるため、このプロジェクトの支援組織「ビルマ・シャン州農援団」が立ち上り、2007年より事務局を引き受け、この会費を資金として支援を行っている。

研修農場所在地：ミャンマー・シャン州

チェントゥー市

農場面積：1.5エーカー

責任者：ドナルド氏(アジア学院修了生)



今年度は、農援団ニュースレター

の発行(12月25日)、および2月に現地視察を実施した。既に現地に渡されていた支援金により購入された養魚用の餌をつくるペレットマシンを確認。現地での話し合いにより、次期プロジェクトとして豚バンクを2つの村で始めることで合意。その準備として豚舎工事の資金不足分を補填することにして資金移動を行った。

豚舎は完成したが、豚インフルエンザの影響を受け、豚バンクの開始は見合わせとなっている。

## 2. 海外の障害児者等との交流事業

### (1) モンゴル、タイ等への研修・交流ツアーの企画実施

#### ア. 第5回モンゴル交流ツアー

～障害児に車いすを届ける旅～

モンゴルへの車いす輸送に今回初めてモンゴル航空にご協力いただいて車いすを届け、モンゴルの障害児に直接手渡し、交流するツアーを実施した。後半、南ゴビにおいては、シェアザジョイセンターのサマー療育キャンプに参加するチームとモンゴルの大自然を体験するチームに別れた。



期 間：2009年8月9日(日)～8月16日(日) 7泊8日

内 容：車いすの運搬および寄贈、障害児関連施設訪問・交流、観光

<ウランバートル>車いすの寄贈式(障害児親の協会)、市内観光、チンゲルティ地区障害児センター、第10治療幼稚園、国立外傷センター、モンゴル航空を訪問。



<南ゴビ>シェアザジョイセンター訪問後、

A：療育キャンプでの訓練指導

B：ツーリストキャンプに宿泊。溪谷ハイキング、砂丘体験、遊牧民のゲル訪問等。

参加者：8名、

協 力：モンゴル航空

#### イ. ミャンマーへの農援団ツアー

北タイの山岳少数民族ラフ族のリーダー、ダイエー・セイリ氏とともに、ミャンマー、チェントゥー市の研修農場を訪問し、現地のリーダー、ドナルド氏や山岳民族の農家と交流し、現地の状況を把握することができた。その後、北タイの RudeLA の研修農場やメタム子ども寮等を訪問するツアーを実施した。

期 間：2009年2月9日(月)～2月15日(日) 6泊7日

内 容：<チェントゥー>研修農場訪問、  
山岳民族の村訪問・農家へのヒア  
リング

<北タイ>ゴールドントライア  
ングル観光、メタム子ども寮、  
研修農場訪問、チェンマイ観光



現地協力者：ダイエー・セイリ氏(チェンライ、RudeLA 代表)

参加者：5名

#### ウ. タイへの高校生のスタディツアー

例年通り、東京・北区にある私立・順天高校が行うタイ修学旅行に協力し、北タイにおけるプログラムの企画・コーディネートの作業を進めていたが、新型インフルエンザ流行の影響により、同校の海外への修学旅行が全て中止となり、実施しなかった。

3. 啓発事業  
事業実施なし

4. 文化交流事業

(1) モンゴル文化紹介コンサートの開催

七夕チャリティコンサート「モンゴルの風」開催

七夕の時期にコンサートを開催。会場はほぼ満席で、大勢の来場者においていただくことができた。今回は、モンゴルでの活動の写真を展示し、ステージからもモンゴルの障害児のおかれている状況を報告し、活動をより理解していただくことができた。



日時：2009年7月3日(金) 18:30～20:30

会場：ルーテル市ヶ谷センター(新宿区市ヶ谷佐土原町 1-1)

出演：アランズ・バトオチル(馬頭琴・ホーミー)

バダム・ボロルマー(楊琴)

バトサイハン・マンドハイ(舞踊)

来場者：188名



(2) ハワリンバヤル(モンゴルの春祭り) 実行委員会への参加

在日モンゴル留学生会が中心となり催されているモンゴル文化交流イベント「ハワリンバヤル 2009」の実行委員会に参加し、モンゴルの留学生と交流を図った。

開催日：2009年5月3日(日)～4日(休)

場所：東京都練馬区 都立光が丘公園

主催：在日モンゴル留学生会 / ハワリンバヤル2009実行委員会

後援：外務省 / 駐日モンゴル国大使館 / 東京都練馬区

実行委員：光井紀子

5. 情報提供事業

(1) ニュースレターの発行

ニュースレター発行 1回(11月)

ニンジンアップデート(Eメール、Faxによる情報発信、月1～2回)

(2) ホームページの維持、更新、情報提供および意見交換の場の提供

ホームページおよびブログでの情報発信のほか、NPO、NGOの団体情報公開サイトへの登録情報を更新し、情報開示やイベント情報の発信を行った。また、ブログより、クレジットカードでの寄付、会費納入ができるようになった。

<ホームページ/ブログ URL>

・ <http://www.ninjin-npo.org>

・ <http://blog.canpan.info/ninjin-jpn/>

<主な団体情報開示ウェブサイト>

・ 日本財団公益コミュニティーサイトCANPAN

[https://canpan.info/open/dantai/00003395/dantai\\_detail.html](https://canpan.info/open/dantai/00003395/dantai_detail.html)

- ・日本NPOセンターNPOひろば

<http://www.npo-hiroba.or.jp/search/?c=more&pk=80490>

- ・Yahoo ボランティア

[http://volunteer.yahoo.co.jp/category/international\\_cooperation/588608707/](http://volunteer.yahoo.co.jp/category/international_cooperation/588608707/)

<登録募金サイト>

- ・イーココロ <http://www.ekokoro.jp/ngo/00165/index.html>

- ・クリックエイド(携帯から) <http://clickaid.jp/>

(3) その他

- ・「ひよこっち」第11回自主ライブへの後援およびブース出展

「ひよこっち」(代表:橋本一郎さん)は、ろうと難聴の中・高・大学生・社会人のグループで、モンゴルの聴覚障害児との交流を希望している。ブースを出展し、ニンジンの広報およびモンゴルの聴覚障害児を招くための募金箱を設置。

期 日:2009年3月28日(土)、および29日(日)

会 場:障害者スポーツ文化センター横浜ラポール

来場者:2日間で700名。

- ・『世界一小ちゃい?!ミニ絵画展』でのモンゴルに車イスを送るキャンペーン募金

期 間:2008年12月15日(月)~24日(水)

会 場:ギャラリー八重洲・東京(東京駅八重洲地下街)

・会計報告

平成20(2008)年10月1日から平成21(2009)年9月30日

収入の部	(円)	支出の部	(円)
会費収入	422,000	支援事業費	368,805
寄付収入	799,889	交流事業費	2,524,272
事業収入	2,827,520	文化交流事業費	365,967
その他の収入(利息)	632	啓発事業費	0
		情報提供事業費	20,963
		管理費	510,053
		その他の支出	0
当期収入合計	4,050,041	当期支出合計	3,790,060
前期繰越金	762,333	当期収支差額	259,981
収入合計	4,812,374	次期への繰越金	1,022,314